

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度 子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第1回）
開 催 日 時	平成25年5月14日（火） 午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	市役所本庁舎2階 全員協議会室
出 席 者	金子 廣志 長沼 文彦 荒井 マサ子 角野 亜衣 高野 章 藤巻 和司 枝村 頼子 安立 美智子 田家 正好 荒井 恵美子 阿保 資江美 山中 一英 小山 忠彦 森田 和憲 池田 秋義 計15名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 谷口副課長、富樫主査、中森主任、藤田主事、古田土主事
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 新委員の紹介について (2) 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について (3) その他 4 閉会

会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料 ① 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 学年別登録者数 ② 東野、石神ココフレンド 参加人数 ③ 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会要綱 ④ 新規開設校進捗状況 ⑤ 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会今後のスケジュール
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）

1 開会（藤田主事）

2 挨拶（金子教育長）

3 議事（説明：富樫主査）

(1) 新委員の紹介について

新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会の委員の任期については、「新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱」第4条により、「委員の任期は、委嘱の日から当該委嘱の日の属する年度の翌年度末まで」と規定されている。ついては、昨年5月に委嘱を受けられた委員の任期については、来年の3月31日をもって満了となる。

新しい年度となり、人事異動や、団体の役員改選等あり、数名の委員の方々の変更があった。また、新規開設校である東北及び新堀ココフレンドから運営委員会委員として新しく委嘱されることとなった委員の方々がいるので、御紹介申し上げる。

配布した名簿をもって委嘱と代えさせていただく。任期については、平成26年3月31日までとなる。

(2) 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について

（資料1 平成25年度の登録者数を基に説明。）

5月14日現在で表にまとめてある。東野及び石神ココフレンドについては昨年度と対比ができるようにしてある。合計の人数は、多少の増減はあるが、ほぼ同様の数字となっている。学年別に見ても、ほぼ同様の数字となっている、この事業が安定して運営されているということが言える。

続いて、東北及び新堀ココフレンドであるが、4月24日から26日までの3日間が申込日であったが、表のとおり数字となっている。この2校については、既に開設している2校と同様、低学年が多くなっている。また在校児童数の割に東北小学校の登録率が若干低い数字となっている。

（資料2 平成25年度の参加人数を基に説明。）

表のとおりとなっている。数字だけでは見えない部分もあり、毎日参加している子の割合が多いということと、昨年度中は特定の学年に集中して参加が0という学年があったが、今年度は、各学年の出席があるということである。また、1年生の参加については、5月7日から開始となっているが、両校とも10名前後となっている。

この10名前後の参加数を多いと見るか、少ないと見るかは、難しいところもあるが、入学してまだ1か月ということで、学校に慣れていない部分も多く、参加数は今後徐々に増えていくものと思われる。

（資料3 子どもの放課後居場所づくり事業実施要綱を基に説明。）

前回3月の会議において、皆様に御意見を頂戴した、お盆及び正月休み明けの当事業の開設についてであるが、委員の方から、この二つの期間は、家

族で過ごすべきではないかという御意見や、スタッフの苦労を心配する声をいただいた。

委員の方々の意見を参考に、この期間におけるココフレンドの開催について開催すべきか否か事務局としても検討をした。

検討結果として、上記期間については、ココフレンドは休みとし、「新座市子どもの放課後居場所づくり事業実施要綱」第5条を改訂した。

また、4月1日に機構改革があり、教育総務部生涯学習課と同部スポーツ振興課が合併し、生涯学習スポーツ課となったことから、同要綱第14条を改訂した。

(資料4 新規開設校の進捗状況を基に説明。)

11月の運営委員会で、平成25年度新規開設校の決定をいただいてから表のとおり準備を進めてきた。

4月に入り、16日にスタッフ研修会を行った。5月上旬には、各校で実行委員会を行い、20日には、オリエンテーションを予定している。

5月27日のスタートを目指し準備も佳境に入っているところである。

(資料5 子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会今後のスケジュールを基に説明。)

本日が第1回目の会議となる。

第2回を11月に予定している。内容については、実施4校の事業の報告、及び平成26年度の新規開設校の決定についてである。

第3回を来年の3月に、来年度第1回と新規開設校のスタートを来年の5月に予定している。

(3) その他

委員長 東野、石神ココフレンドは低学年が多くなっているのか。

コーディネーター 東野は、昨年と比べると3～5年生が増えている。昨年参加していた2～4年生が、そのままスライドして、学年が変わっても参加している。それに、新1年生が参加しているので、参加人数は増えている。

コーディネーター 石神は、低学年が多いというのは、昨年から同様である。毎日来る子どもが増えている。東野と同じ様に、昨年、1年生で参加していた子どもが、そのまま2年生になっても来ている。毎年少しずつ参加児童が増えていくと、今のままのスタッフ数では大変である。事業が安定してきていることと、地域の皆さんに認知されてきていることだと思う。

委員長 人数が増えるということは、事業が安定してきているということであるが、限られた場所と人員で行っているので、難しい部分もあると思う。

今後、新堀、東北に開設するが、何か助言があればお願いしたい。

コーディネーター 最初は、新規事業のため、親も様子を見に行かせるため参加させていたので、大変な人数であり、4人のスタッフではどうしようもなかった。始めはスタッフを多めに配置した方がよいと思う。

コーディネーター 学校の収容人数というものがあると思うが、最初は、見通しが、たらず、オリエンテーションもなかったため、子ども達も動きが分からなく、学校にも迷惑をかけた。今年度は、その反省を踏まえ、新規2校で

オリエンテーションを実施するという事で、大分違うと思う。

もう一点は、この事業についての説明を、教職員にきちんと説明していたかどうかである。教職員とココフレンドスタッフとの認識のずれがかなりあったようだ。しっかり説明していないと、意識の落差が埋められないと思った。

委員長 同じような事業を品川区でも行っており、視察に行ってきたが、やはり開設当初は同じような問題が起こったということである。

今後開設になる2校については、情報を交換しながらやってほしい。

コーディネーター 今年度から新しく、公務システムというものが各学校で使えるようになったが、その中のメール配信の機能をココフレンドでも使用ができないか。

委員長 教員には1人1台パソコンを配布している。出席簿等一括で管理できるシステムである。教員の負担は少し軽減されると思われる。

しかし、個人情報保護法上、学校で収集した親のメールアドレスをココフレンドで使用するのは難しい。別に保護者から聴取しなければならないと思う。今後検討していかなければならないものだと思う。

コーディネーター 昨年度1年間やってみて、いくつか問題点があったが、その中で、オリエンテーションをやらなかったのが、1年間引っかかってきた。今年度は、新規校でオリエンテーションをやるということで、非常に意味のあることだと思う。

また、教員への説明を行ったおかげで、教員の対応が変わってきた。

保護者や教員に理解にしてもらうのに一年間かかったものが、早く理解されると思う。

また、スタッフ研修を行ったということで、スタッフの意識も変わり、非常によかったと思う。

委員長 様々な課題があると思うが、連絡を密にして、その課題を克服するようにしてもらいたい。保護者、教職員双方に事業の啓発をしてもらって、何のためにこのような事業をしているかも含め浸透していったほしいと思う。

4 閉会（藤田主事）